平成 23 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名　日本電産株式会社
代表者名　代表取締役社長　永守　重信
取 引 所　東証一部・大証一部（6594）
　　NYSE（NJ）
問合せ先　広報宣伝部長　田村　徳雄
T　E　L　（075）935－6150

当社及び当社子会社による三洋精密株式会社の株式譲受手続き完了と新子会社概要

平成 22 年 12 月 9 日に、日本電産株式会社(以下、「当社」)は三洋電機株式会社との間で、三洋精密株式会社(以下、「三洋精密」)の全株式を譲り受けることに合意し、株式譲渡契約書を締結しておりましたが(詳細は、平成 22 年 12 月 9 日付プレスリリース「三洋精密株式会社の株式取得に関するお知らせ」をご参照)、本日(平成 23 年 7 月 1 日)、株式譲受手続きが完了致しましたので、お知らせ致します。

当初、当社が三洋精密の全株式を譲り受ける予定にしておりましたが、当社が三洋精密の全株式の 85.5%、当社子会社の日本電産コパル株式会社が 14.5%を譲り受けることになりました。

又、平成 23 年 4 月 1 日にクロージングを予定しておりましたが、競争当局の認可が遅れたことに伴い、株式譲受手続きの完了が本日となりました。

買収した会社は当社の子会社となりましたので、その概要についてお知らせ致します。

1. 新子会社概要

① 会社名

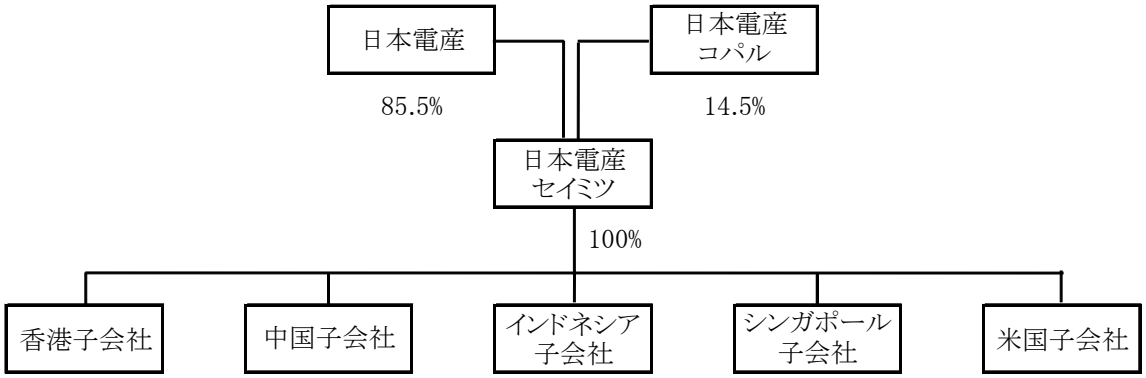
- 日本：日本電産セイミツ株式会社
  (英語社名) NIDEC SEIMITSU CORPORATION
- 中国：三洋馬達科技（深圳）有限公司
  (2011 年 9 月 1 日、子会社となる予定。2012 年 4 月、日本電産精密馬達科技（深圳）有限公司に社名変更予定)
- 中国：三洋馬達部品（深圳）有限公司
  (クロージング後に日本電産精密馬達部品(深圳)有限公司に社名変更予定)
- 中国：三洋馬達科技（東莞）有限公司
  (2012 年 2 月、日本電産精密馬達科技（東莞）有限公司に社名変更予定)
- 香港：日本電産精密（香港）有限公司
  (クロージング後設立予定)
- シンガポール：SANYO Precision Singapore Pte. Ltd.
  (クロージング後に NIDEC SEIMITSU SINGAPORE PTE. LTD.に社名変更予定)

■ インドネシア：PT. SANYO Precision Batam
(クロージング後に PT. NIDEC SEIMITSU BATAM に社名変更予定)

■ 米国：NIDEC SEIMITSU AMERICA CORPORATION
(クロージング後設立予定)

② 会社出資形態

当社が日本電産セイミツ株式会社の株式の 85.5%を、日本電産コパルが同社株式の 14.5%を保有致します。



③ 日本電産セイミツ株式会社の概要

1) 社名　日本電産セイミツ株式会社

2) 本社所在地　長野県上田市中丸子 1771 番地

3) 役員

代表取締役会長(非常勤)	永守　重信
代表取締役社長	池内　俊郎
取締役常務執行役員	佐野　知昭
取締役常務執行役員	中山　良一
取締役常務執行役員	小林　正徳
取締役執行役員	伊藤　嘉和
取締役執行役員	佐藤　博
取締役(非常勤)	前田　孝一
監査役(非常勤)	井上　哲夫
監査役(非常勤)	岩田　高

4) 設立　1974 年 10 月

5) 資本金　18 億 29 百万円

6) 主要拠点　中国(東莞、深圳)、インドネシア(バタム)、シンガポール、香港、米国

7) 主な事業内容　精密小型 DC モータ(振動モータ、一般モータ)の開発、製造、販売

8) 従業員数　　281 人(2011 年 3 月末時点、単体)
8,110 人(2011 年 3 月末時点、連結)
尚、9 月 1 日(予定)の三洋馬達科技（深圳）有限公司の子会社化に伴い、従業員約 5,600 人を引継ぐ見込みで、これを含めると総受入従業員数は約 13,700 人となる見込みです。

9) 最近事業年度の未監査プロフォーマ連結売上の動向

(単位:百万円)

	2009 年 3 月期	2010 年 3 月期	2011 年 3 月期
売上高*	28,321	23,196	26,449

*譲渡の対象外である応用商品、EMS 事業を除いたプロフォーマ連結売上高

2. 今後の運営方針

日本電産セイミツ株式会社は精密小型モータ事業の中でも特に携帯電話向けの振動モータ事業に強みを有しております。

昨今の携帯電話市場におけるスマートフォンの台頭に加え、タブレット端末も注目を浴びており、これらの製品の特徴であるタッチパネルのフィードバック機能を実現する部品として、振動モータは有望視されております。今後、当該分野における振動モータ市場の拡大が予想されます。

このような市場動向を背景に、日本電産セイミツ株式会社の同分野における技術力、販売力等を活かし、振動モータ事業において当社グループの更なる地位向上を目指して参ります。

3. 今期の業績に与える影響

今後の業績に与える影響につきましては、詳細が確定次第、東京証券取引所における開示原則に基づき適切に公表し、業績予想の修正がある場合には改めてお知らせ致します。

以 上